



凡例

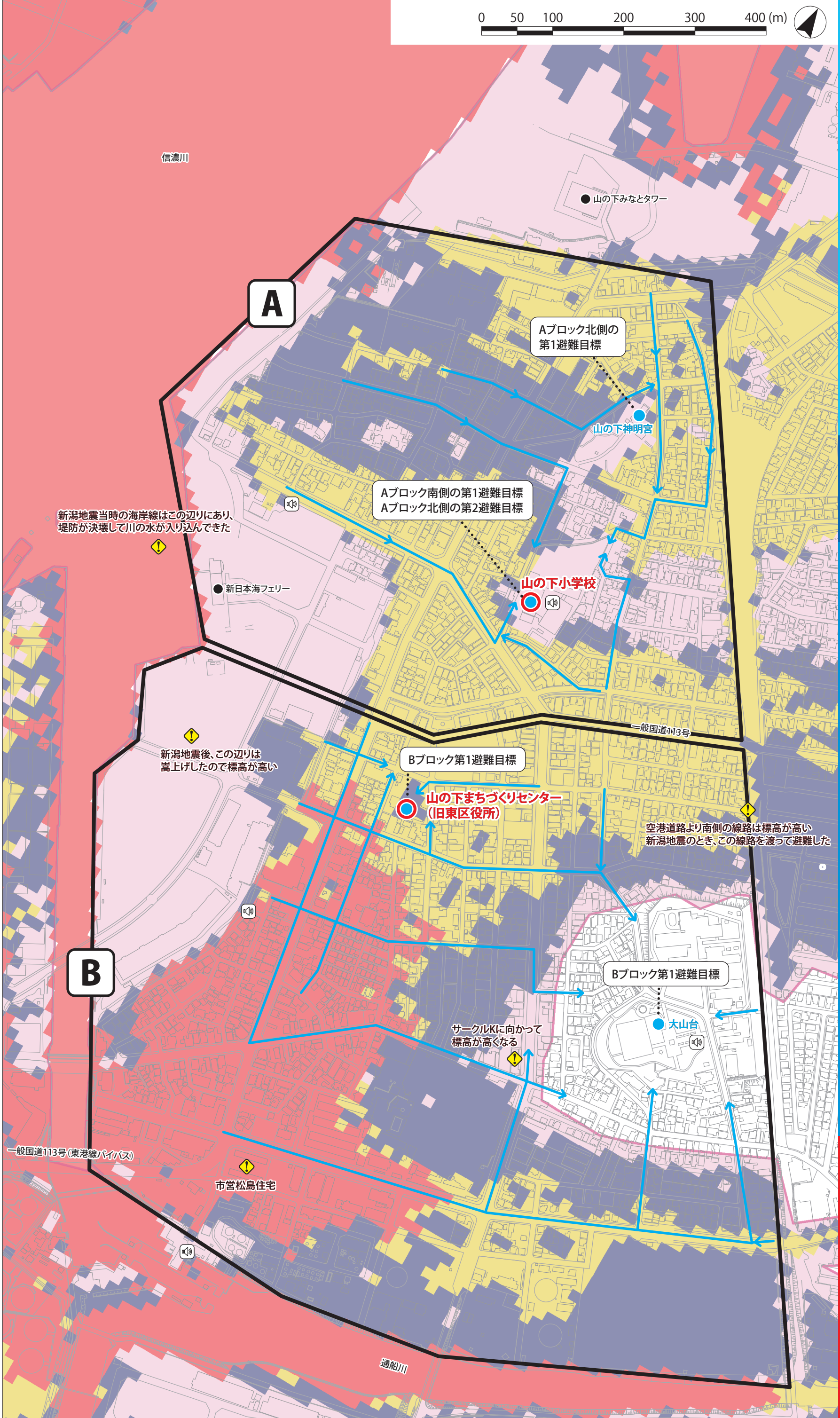
新潟県
津波浸水想定
(H25年度)

要避難区域

- 沿岸・沿川地域
(発災～30分未満)
- 河川遡上地域
(30～120分未満)
- 低平地浸水地域
(120分～約7日後)
- 避難対策区域*

避難者
受け入れ地域

- 避難目標
- 津波避難ビル
- 津波避難ビルが避難目標の場合
- 防炎行政無線
- 避難方向
- 避難のポイント



新潟地震当時の海岸線はこの辺りにあり、堤防が決壊して川の水が入り込んだ

新潟地震後、この辺りは高上げしたので標高が高い

空港道路より南側の線路は標高が高い新潟地震のとき、この線路を渡って避難した

サークルKに向かって標高が高くなる

* 避難対策区域とは、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため津波浸水想定区域と合わせて要避難区域としました。

※この地図は、新潟市の承認を得て、新潟市発行の2千5百分の1地形図を複製したものである。(承認番号)平24新第374号の2